

公共圏との相互関係にみるサブシステムの表象と実践

増田 和也

(京都大学生存基盤科学研究ユニット 研究員 /
京都大学東南アジア研究所 特任研究員)

田崎 郁子

(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 博士後期課程 /
日本学術振興会 特別研究員)

大石 和男

(京都大学大学院農学研究科 助教)

2010 年 1 月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科
Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

本研究は、農山村に対する支配・統治関係と社会的・経済的な抑圧のなかでサブシステンス活動のもつ対抗的性格について、公共圏との関わりの中から読み解くことを目的とする。ここでのサブシステンスとは、「特定の社会的意味」が付与されたものとしての生業とその周辺領域、を意味する。事例研究を通じて、1) 強制移住者が故地において自己決定権を回復する試みとそこでの葛藤について（インドネシア）、2) 権力側と農民側の双方における「足るを知る経済」言説の流布と定着の過程について（タイ）、3) 農村女性が過去約 40 年間に取り組んできた諸活動において相互に史的な連続性が存在すること（日本）、を明らかにした。

2008 年度次世代研究「公共圏との相互関係にみるサブシステムの表象と実践」（研究代表：増田和也）による成果である。

【メンバー】 () 内は 2008 年度プロジェクト時点

増田和也（京都大学大学院人間・環境学研究科 研修員）

田崎郁子（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 博士後期課程 /
日本学術振興会 特別研究員）

大石和男（京都大学大学院農学研究科 助教）